

中野区立小中学校の再編の検証について

令和6年4月に鷺宮小学校と西中野小学校が統合したことにより、平成17年に策定した「中野区立小中学校再編計画」及び平成25年に策定した「中野区立小中学校再編計画（第2次）」（以下「再編計画」という。）に基づく再編がすべて終了したため、これまで行われた再編の効果について、検証を行う。

1 検証の目的

区がよりよい教育環境を目指して再編計画において示した3つの基本的な考え方である「1. 充実した学校教育のため、望ましい規模の学校をつくります」、「2. 小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図ります」、「3. 施設・設備等の整備を進めます」について、達成状況及び教育効果、学校運営などの視点から効果を検証することで、成果と課題を明らかにする。

2 検証の視点

（1）再編計画の達成度

再編計画における3つの基本的な考え方に基づく主な取組の達成度を検証する。

（2）取組による効果

再編計画に基づく取組による効果を以下の3つの視点から検証する。

①教育効果

一定の集団規模や学級数が確保されたことによる学習指導や学校行事など、集団活動における子ども同士の学び合いや人間関係づくりに関する効果

②学校運営

一定規模の教員集団が確保されたことによる教職員の負担軽減や指導環境の改善に関する効果

③学校施設

新校舎整備による施設の機能、安全性の向上などの教育環境や統合による施設の維持管理費削減に関する効果

3 検証事項（案）及び調査方法

（1）再編計画の達成度に関するもの

再編計画における基本的な考え方に基づく以下の主な取組について、再編前後のデータ等を調査し達成度を検証する。

- ①小学校と中学校の通学区域の整合性を可能な限り図れたか
- ②小規模化を解消し適正な学校規模が確保されたか
- ③35人学級が推進されたか
- ④変更後の通学の安全対策が実施されたか
- ⑤教育環境の確保・向上を図るための大規模改修工事又は改築（建て替え）工事が実施されたか
- ⑥統合により学校施設の維持保全費用が削減されたか
- ⑦学校活動への影響を考慮した移転ができたか（統合新校移転までの仮校舎活用）
- ⑧片方の学校名ではなく新名称による新設校として設置されたか
- ⑨通学区域、通学距離を考慮した学校の配置が行えたか（小中学校の位置の入れ替え）
- ⑩統合新校（小学校）において放課後の子どもの安全で安心な遊び場が確保されたか
- ⑪前期計画と比較し統合に向けた十分な協議時間を確保できたか
- ⑫統合後の円滑なスタートに向けた早期の対応が行えていたか

【上記を検証するための主な調査項目】

通学区域の変遷、通学安全対策の状況、学級数の推移、35人学級の達成状況、校舎の改修・改築状況、統合後の校舎の配置状況、キッズ・プラザ配置数、学校統合委員会設置状況、統合前における交流事業の実施状況 など

（2）取組による効果に関するもの

アンケート調査を中心に効果について検証する。なお、アンケート調査は、再編計画策定以降に統合した学校を対象とし、統合した年度を考慮したうえで、児童生徒、教員、保護者、地域団体等を対象に行う（「【○○】」は対象）。

①教育効果

【児童生徒・保護者】様々な友達と一緒に話をしたり、知り合いになる機会が増えたか

【児童生徒・保護者】運動会などの学校行事は、活気にあふれているか

【児童生徒】勉強やスポーツにおいて切磋琢磨する新しい友達ができただか

【保護者】小学校の友人が別れることなく中学校に進学できるようになったことへの意見

【教員】集団規模を活かした指導・教育ができるようになったか

【教員】児童生徒の活動や生活がこれまでより活発化したか

【教員】学校施設の更新が指導方法の改善につながっているか

②学校運営

【教員】教員数が増えることで役割の明確化や負担の平準化がされたか

【保護者・教員】通学の安全対策は十分だと感じるか

【保護者・教員】一足制などの新たな取り組みへの意見

【地域】児童生徒や学校と関わる機会が増えたか

③学校施設

【教員】学校施設の更新が指導方法の改善につながっているか

【地域】学校施設の更新により利用しやすい施設になったか

【地域】災害時の避難所として利用しやすい施設になったか

4 検証結果を踏まえた今後の取組の方向性について

検証結果から明らかになった課題を踏まえ、学校規模や教育環境の維持改善に必要な取組を検討し実施していく。なお、検討にあたっては、中長期的な視点も踏まえ、現状における課題や将来の児童生徒数の推計、まちづくりの進展、地域への影響なども考慮し検討する。

5 今後の予定

令和6年8月 委託事業者決定

9月～ 調査、検証

令和7年3月 検証結果の報告（第1回定例会）

※参考「再編計画策定時の児童生徒の推計値及び実数」：別紙のとおり

再編計画策定時の児童生徒の推計値及び実数

NO	校名	再編計画策定時(H24)のR4推計値		R4実数			
		①人数	②学級数	人数	①との差	学級数	②との差
1	桃園第二小	394	12	340	-54	11	-1
2	塔山小	349	12	508	159	16	4
3	谷戸小	309	12	428	119	14	2
4	中野本郷小	355	12	336	-19	12	0
5	江古田小	213	10	471	258	17	7
6	啓明小	334	12	378	44	13	1
7	北原小	326	12	304	-22	11	-1
8	江原小	419	14	480	61	16	2
9	武蔵台小	551	17	531	-20	17	0
10	上鷺宮小	365	12	453	88	14	2
11	桃花小	471	18	748	277	24	6
12	白桜小	297	12	514	217	18	6
13	平和の森小	615	20	726	111	22	2
14	緑野小	379	13	543	164	18	5
15	南台小	931	37	467	82	15	-5
16	みなみの小			546		17	
17	美鳩小	628	24	749	121	22	-2
18	中野第一小	579	18	740	161	22	4
19	令和小	653	26	643	-10	21	-5
20	鷺の杜小	537	24	571	34	22	-2
小学校 合計		8,705	317	10,476	1,771	342	25
1	第二中	380	12	323	-57	9	-3
2	第五中	267	9	289	22	9	0
3	第七中	282	9	329	47	10	1
4	北中野中	424	14	452	28	13	-1
5	緑野中	345	12	421	76	12	0
6	南中野中	302	10	340	38	10	0
7	中野中	432	14	347	-85	9	-5
8	中野東中	529	17	419	-110	12	-5
9	明和中	440	17	475	35	14	-3
中学校 合計		3,401	114	3,395	-6	98	-16

※統合校は、統合前の学校の合計値としている。

※再編計画(第2次)で掲載している推計値は平成34年度(令和4年度)まで。